

SPパレット きれいなパース作成のための操作ポイント

SPパレットで手書き風の効果を入れると、元画像より明るく薄くなります。
また、**陰影がある部分に手書き風の効果が強く入ります。**



きれいな手書き風パースを作成するためには

【1】図面上へ配置をする前に**効果設定の調整**

【2】SPパレット設定画面で、**明るさ・コントラスト・彩度の調整** が必要です。

【1】効果設定の調整



①SPファインダー

ONにすると陰影が強くなります。数値はお好みですが「60前後」が使用しやすいです。

数値を上げると思いきった表現にできます。

※黒くなりすぎないように注意しましょう。

SPファインダーOFF



SPファインダーON (数値60前後)



②面ハイライト

SPファインダーを設定すると陰影がついて暗くなりやすいので、面ハイライトを設定するとコントラストがつきより効果的です。日差しを強調し陰影に深みを出すことができます。カメラの矢印の先にハイライトが一番強く入りますので、太陽の光を強く受けたい部分に矢印を向けましょう。数値は100がムラが少なくおすすめです。

面ハイライトOFF



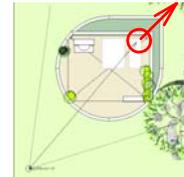
面ハイライトON(数値100)



【面ハイライトを設定しパースが白く(明るく)なりすぎてしまった場合は…】

カメラの矢印の先にハイライトが一番強く入ります。矢印の先をプランに当たらない位置へ伸ばしましょう。

また、プランに筋のようなものが入ってしまった場合は「光の拡散」数値60前後(②-2)で調整をしましょう。



③アンチエイリアス

影のブレを軽減したい場合は、アンチエイリアスの回数を増やします(4~16回)。こちらの設定はお好みです。数値が大きくなるにつれてブレが小さくなります。

※数値が大きいとレンダリングに時間がかかります。最大で16回までにしましょう。



設定は一度「手動」にして回数を変更後「自動」に戻します。手動のままですと描画に時間がかかります。

アンチエイリアス(4回)



アンチエイリアス(16回)



④影シミュレーション

設定をすると実際のシミュレーションを想定したパースになります。また植栽にかかる影が消えるので植栽をきれいに表現できます。

影の方向が気になる場合は①影シミュレーションの月と時間を変更②太陽の向きを「自動」から「手動」にして位置を変更しましょう。

影シミュレーションなし



影シミュレーションあり



詳しい設定の方法はWEBマニュアルを参照してください。



「影 植栽」で検索

- ①SPファインダーON(60前後) ②面ハイライトON(100)
③アンチエイリアス(16回) ④影シミュレーションあり



【2】明るさ・コントラスト・彩度の調整



- ①「明るさ・コントラスト・彩度」を設定してから「手描きの効果」を設定
 SPパレットの手描き効果を設定すると元画像より明るくなります。最初に明るさを落とすなどしてから手描き効果を入れた方がきれいに仕上がります。



②イメージ通りにならない時は「クリア」

「明るさ・コントラスト・彩度」「手描き効果」はクリックするたびに効果が重なっていきます。イメージ通りにならない場合は「クリア」ボタンで一度リセットをして再度設定をし直しましょう。

SPパレット効果と仕上がりの印象について



色が暗く、濃くです。
※黒くなりすぎない程度に下げ
ましょう



手描き効果や色がしっかりとでるようになります。
設定をしないとソフトな印象にできます。



明暗の差が強調されます。
※黒くなりすぎない程度に上げ
ましょう



日差しが強い初夏のお昼のような印象にできます。



緑や赤が際立ち鮮やかになります。
※元の画像と色が変わる部分が出てきます。



植栽が鮮やかでイキイキした印象にできます。



緑や赤の色が薄くなっていきます。
※元の画像と色が変わる部分が出てきます。



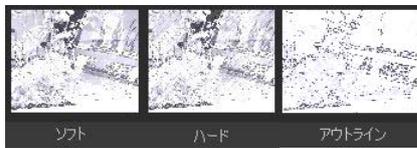
色味を抑えたシックで清楚な印象にできます。和風、色褪せたイメージ。音のない静かなイメージ。



【スケッチ】
色鉛筆でこすったような繊細なスケッチラインが入ります。



【水彩】
水彩画のように柔らかく、やさしく温もりのある印象にできます。



【ソフト】【ハード】【アウトライン】
単色仕上げです。色が決まっていなかった場合やカッコ良い印象にしたい場合などに効果的です。単色はプランの陰影部分に反映されます。



【スケッチ彩色】【+彩色】
スケッチ風または単色仕上げですが、彩度が強い植栽を際立たせることができます。色味を強めると個性的な表現ができます。



【+緑/赤】
単色仕上げですが、特に植栽が際立った思い切った表現ができます。色味を強めると個性的な表現ができます。

SPパレット「明るさ・コントラスト・彩度」調整例

①同じ水彩仕上げですが、明るさを落とすと色がはっきり表現されます。



SP80+水彩



水彩



SP80+明↓②+水彩

↓ 明るさDOWN↓
 ↓ 明るさDOWN↓



水彩

②同じスケッチ仕上げですが、明るさ・コントラスト・彩度の設定で印象が変わります。



SP80+コント↑①彩↑①+スケッチ

↑ コントラストUP↑
 ↑ 彩度UP↑



スケッチ



SP80+明↓①彩↓②+スケッチ

↓ 明るさDOWN↓
 ↓ 彩度DOWN↓
 ↓ 彩度DOWN↓



スケッチ

SPパレット仕上がりサンプル



【SP60・面100】【ハード単色】【明D1】仕上げ



【SP60・面100】【スケッチ】【彩U1】仕上げ



【SP50】【彩色】【単色】【明D1】仕上げ



【SP50】 【スケッチ】 仕上げ



【SP70】 【緑赤・単色グレイッシュイエロー】 仕上げ



【SP50】 【緑赤】 仕上げ



【SP60・面01】 【緑赤】 【コントラストU1】 仕上げ



【SP60】 【水彩】 【明D3】 【彩D2】 仕上げ



【SP70】 【緑赤・単色グレイシュグリーン】 【明D1】 仕上げ